

2024年12月期第1四半期 決算補足説明資料



輝け、
カガクで。

Activate Your Life

 日華化学株式会社

(東証スタンダード：4463)

2024年4月26日

1

サマリー

サマリー

総括

- ・ 当1Qは**増収・増益**で売上高は1Qとして**過去最高**、**営業利益率はコロナ前を上回る**まで回復
- ・ 化学品事業
 - 中国回復顕著、**東南アジア**回復傾向
 - EHD製品**の伸長と**円安**による伸長
 - 売上高、利益ともに四半期ベースで**過去最高水準**
- ・ 化粧品事業
 - 当1Q新発売の**メンズブランド**が店販品売上を押し上げ、**ODM**、**デミコリア**が好調で増収
 - 在庫変動の影響、販売関連費増で減益
- ・ 当2Q以降は報酬制度改訂により**人件費増**となるが、通期業績予想に織り込み済みであり、かつ売上高、利益率は当初計画通りと見込み**通期業績・配当予想は据え置き**（参照P14：業績予想）

2

決算概要
(全社)

決算概要（全社）

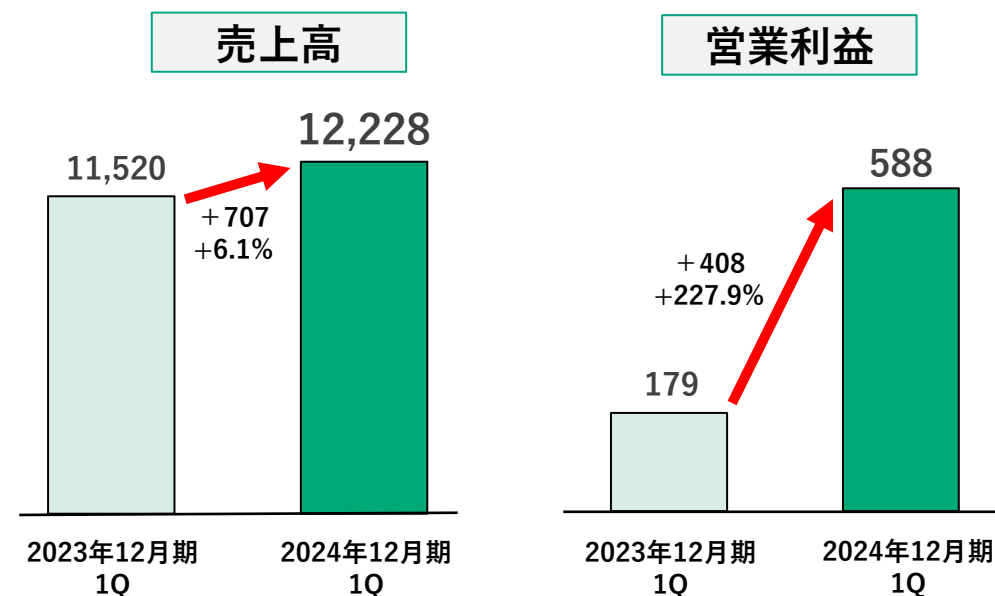
増収・大幅増益、売上高は1Qでは過去最高

単位：百万円

単位：百万円	2023年12月期 1Q	2024年12月期 1Q	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	11,520	12,228	+707	+6.1%
営業利益 (営業利益率)	179 (1.6%)	588 (4.8%)	+408	+227.9% (+3.2 pt)
経常利益	281	766	+485	+172.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	27	318	+290	+1,059.8%

【経営指標】

ROA	1.3%	4.1%	—	+2.8 pt
ROE	0.4%	4.2%	—	+3.8 pt
EBITDA	730	1,124	+394	—
減価償却費	550	536	△14	—
自己資本比率	52.9% (2023年度末)	53.1%	—	+0.1 pt
年間配当(円)	32	34 (予定)		



為替（期中平均）

米ドル：147.87円（前年同期比 11.0%円安）

中国元：6.3%円安 ウォン：6.8%円安

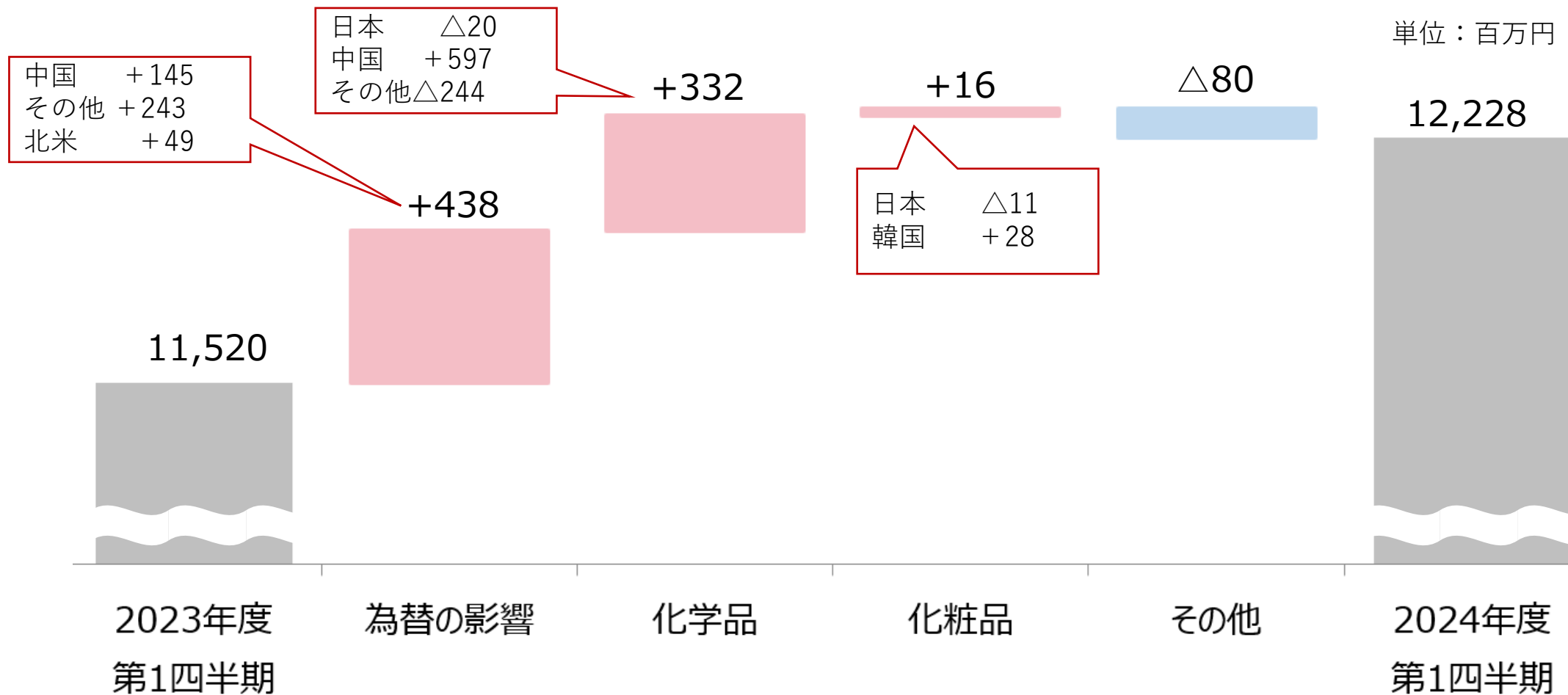
国産ナフサ

1Q予想：72,500円（前年同期比 +9.0%）

2Q予想：77,700円（同 +15.1%）

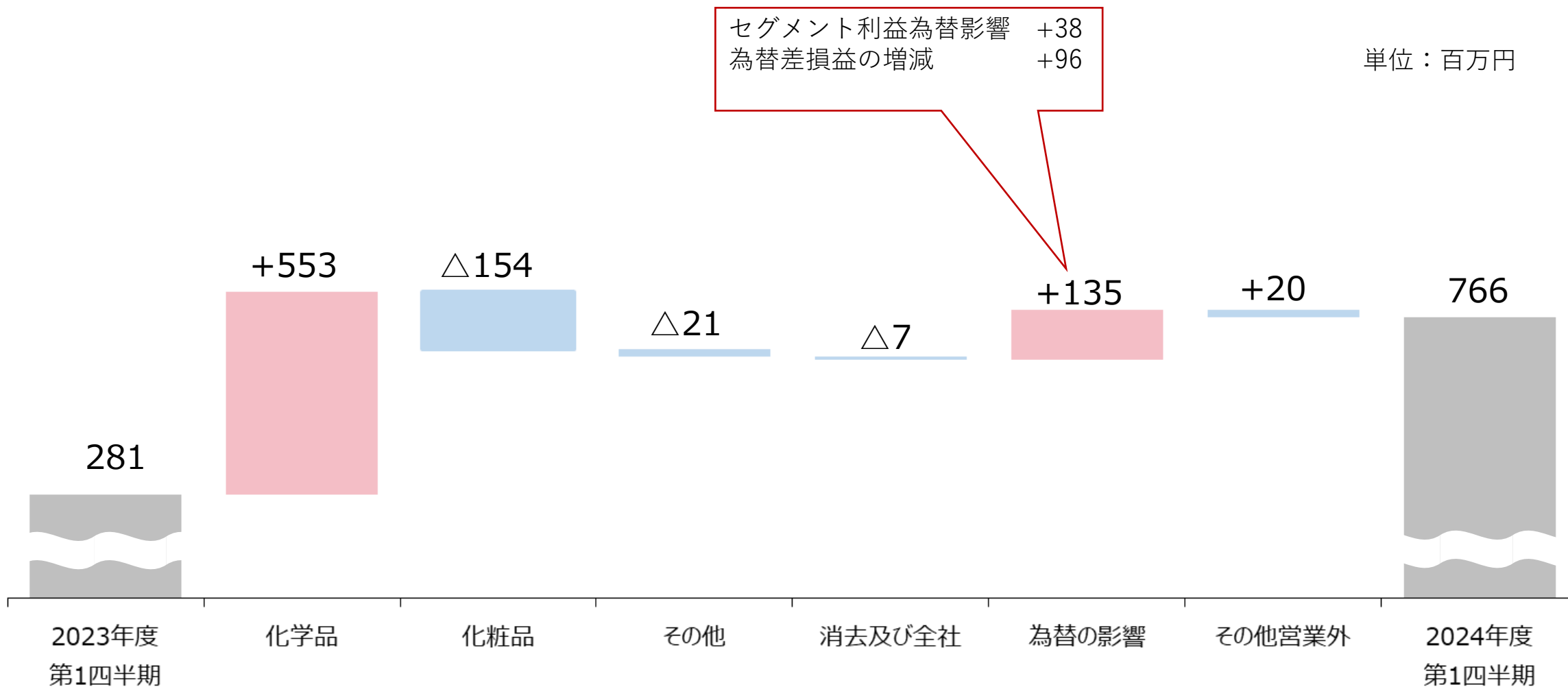
売上高 増減要因 (対前年)

円安(為替)の影響で+4.3億円、化学品事業で3.3億円の増収、化粧品事業で+16百万円の増収
 化学品事業は国内は減収、海外は増収となり、化粧品事業は国内は減収、海外は増収



経常利益 増減要因 (対前年)

営業利益 化学品事業5.5億円増益、化粧品事業△1.5億円減益



3

決算概要
(セグメント別)

セグメント

「化学品」と「化粧品」の2つの事業領域

化学品事業

創業以来培った繊維加工のトータルソリューション技術を幅広い市場に応用、2015年に大智化学産業を買収し、成長著しいデジタル分野にも展開

繊維加工用薬剤



クリーニング用薬剤



スペシャリティケミカル
(特殊化学品・機能化学品)



スペシャリティケミカル
(先端材料)



主要な関係会社

- ・大智化学産業株式会社（半導体産業向け）
- ・日華化学（中国）有限公司
- ・NICCA KOREA CO., LTD.
- 他13社

化粧品事業

「主カブランド「DEMI」を中心としたプロフェッショナル向け美容室専売品 お客様の声に耳を傾け、髪健康と美しさをテーマに研究開発」

ヘアケア



スカルプケア



ヘアカラー



スタイリング



主要な関係会社

- ・山田製薬株式会社（化粧品OEM/ODM）
- ・イーラル株式会社
- ・DEMI KOREA CO., LTD.
- 他4社

セグメント別（化学品事業）

売上高、利益ともに四半期ベースで過去最高水準

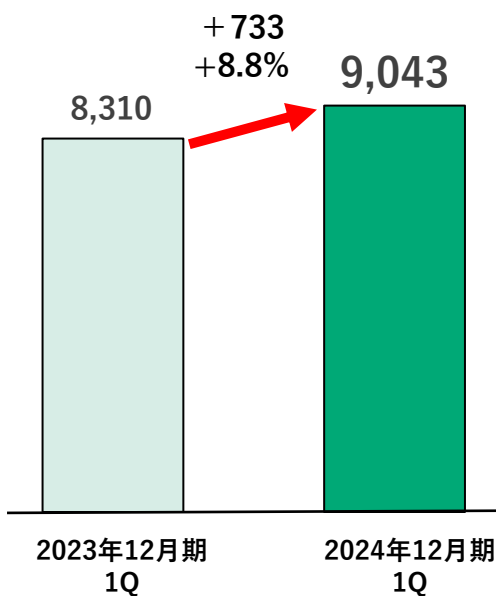
化学品事業	2023年12月期 1Q	2024年12月期 1Q	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	8,310	9,043	+733	+8.8%
セグメント利益 (利益率)	237 (2.9%)	821 (9.1%)	+584	+246.6% (+6.2 pt)

為替（期中平均）
 米ドル：147.87円（前年同期比 11.0%円安）
 中国元：6.3%円安 ウォン：6.8%円安

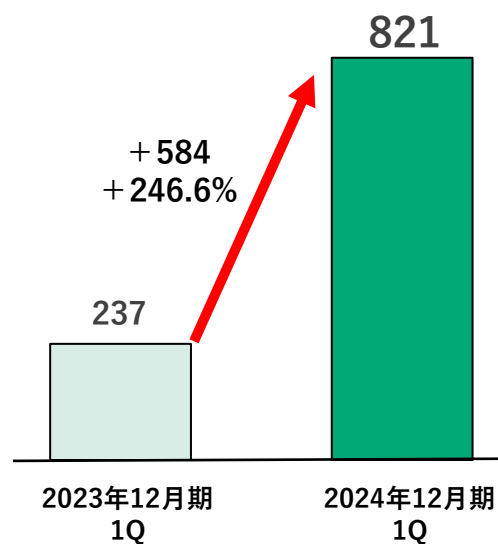
国産ナフサ
 1Q予想：72,500円（前年同期比 +9.0%）
 2Q予想：77,700円（同 +15.1%）

単位：百万円

売上高



セグメント利益



要因

【売上高】

- ◆繊維化学品分野
 - (+) 欧米アパレル在庫調整長期化による需要低迷から回復傾向
 - (+) インド・バン格拉ビジネスの成長
 - (+) 前年1Qのコロナ拡大による低稼働から中国は回復

◆クリーニング薬剤分野（国内）

- (+) インバウンド好調によるリネンサプライ用薬剤販売増

◆半導体加工薬剤分野

- (-) 半導体市場不況の影響も回復傾向

【利益】

- (+) 粗利益率向上、販管費・製造固定費抑制

【分野別】

◆EHD¹関連

- < + 販売堅調 > 撥水剤、水系ウレタン、環境対応工程薬剤、リネン用薬剤
- < + 新規販売 > 自動車向け合皮用トップコート剤グローバル展開

¹EHD：Environment,Health,Digital

セグメント別（化粧品事業）

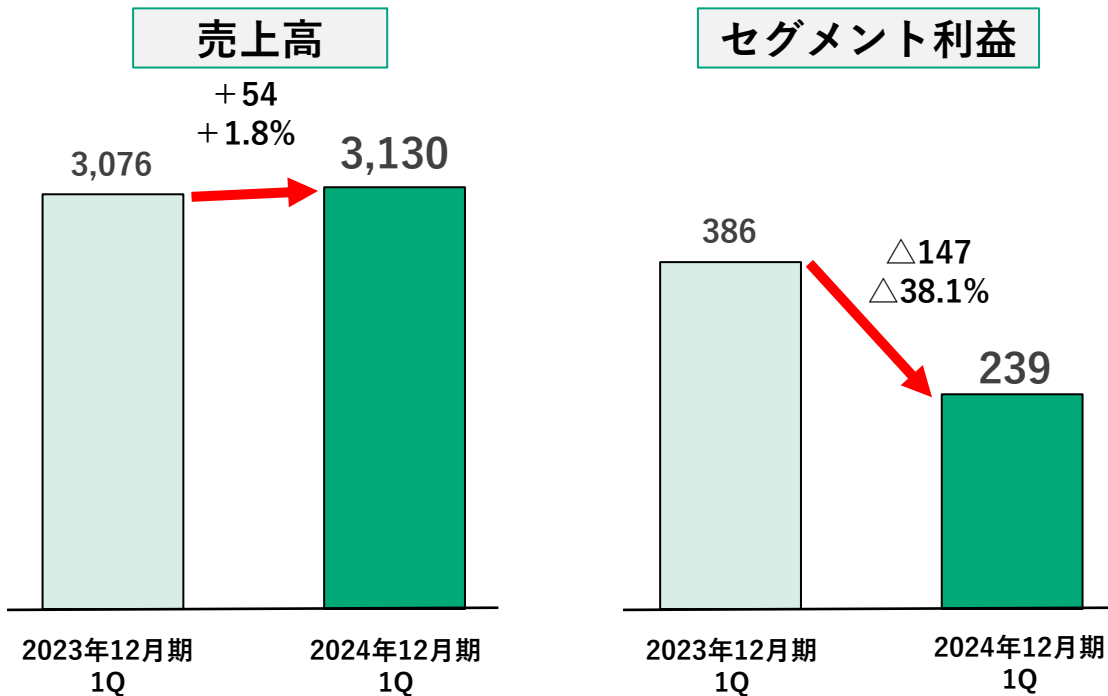
増収・減益 売上高堅調も在庫変動の影響等で減益

化粧品事業	2023年12月期 1Q	2024年12月期 1Q	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	3,076	3,130	+54	+1.8%
セグメント利益 (利益率)	386 (12.5%)	239 (7.6%)	△147	△38.1% (△4.9 pt)

為替（期中平均）
 米ドル：147.87円（前年同期比 11.0%円安）
 中国元：6.3%円安 ウォン：6.8%円安

国産ナフサ
 1Q予想：72,500円（前年同期比 +9.0%）
 2Q予想：77,700円（同 +15.1%）

単位：百万円



要因

【売上高】

- (+) 日華化学デミコスメティクス 新商品拡販で堅調
美容室来客数は前年並み（引き続き低迷している）
- (+) 山田製薬、デミコリア好調

【利益】

- (-) 在庫変動の影響を大きく受けた
販売関連費用増
- ◆デミコスメティクス新商品
メンズブランド「キャラバン」、「エクスフリーク」
- ◆山田製薬
ヘアケア受託事業好調
- ◆デミコリア
・美容室来店客数は引き続き低迷している中、カラーでのシェア
拡大とカラー使用店へのヘアケア製品導入奏功

施策の進捗状況 (2024年12月期1Q)

化学品：更なる収益性向上

化粧品：新製品・メンズブランド、デジタルプロモーション継続による国内シェア拡大

全社：人への投資強化

	施策	進捗状況 (1Q)
化学品事業	・ EHDシフトの推進	<ul style="list-style-type: none"> 販売堅調／撥水剤、水系ウレタン、環境対応工程薬剤、リネン 新規販売／自動車向け合皮用トップコート剤グローバル展開
	・ 戦略的グローバル調達への推進	<ul style="list-style-type: none"> 海外子会社の情報網を活用し、マレーシア、インドネシア、中国から競争力のある油脂化学品、無機化学品の調達を推進中
	・ 不採算製品の統廃合	<ul style="list-style-type: none"> 低粗利製品を同等性能付与製品へ積極的に転換を図り、収益性向上推進中
	・ 原料、物流コスト増に対応した価格改定や採算是正	<ul style="list-style-type: none"> 原油価格上昇、円安、人件費上昇による原料、光熱費コスト、物流コスト上昇に対して機敏な価格改定を図る
化粧品事業	・ スカルプケア「 DEMI DO 」、ヘアカラー「 トイロクシオン 」導入サロンでのシェアアップ	<ul style="list-style-type: none"> DEMI DOトライアルサシェを作成し導入サロンで展開 トイロクシオン追加ライン「ブラウニッシュ」5月発売準備中
	・ メンズブランド強化	<ul style="list-style-type: none"> 予定通り1月に「キャラバン」、3月に「エクスフリーク」販売開始
	・ デジタルプロモーションの継続	<ul style="list-style-type: none"> オウンドメディア立上げ準備

4

業績・配当予想他 (2024年12月期)

業績予想（2024年12月期） 全社

(予想)

増収・増益、増配

単位：百万円	2023年12月期 実績	2024年12月期 予想	前期比 (増減額)	前期比 (増減率)
売上高	50,169	53,500	+3,300	+6.6%
営業利益 (営業利益率)	2,039 (4.1%)	2,500 (4.7%)	+460	+22.6%
経常利益	2,528	2,700	+171	+6.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,691	1,800	+108	+6.4%
年間配当（円）	32	34 (予定)	+2	—

為替／141円（円／米ドル、2023年12月期末値）

ナフサ／72,800円

設備投資予定額(2024年12期)／2,400百万円

業績予想（2024年12月期）セグメント別

(予想)

化学品、化粧品ともに増収・増益

単位：百万円		2023年12月期 実績	2024年12月期 予想	前期比 (増減額)	前期比 (増減率)
化学品事業	売上高	35,605	38,500	+2,894	+8.1%
	セグメント利益	1,803	2,250	+446	+24.8%
化粧品事業	売上高	13,977	14,500	+522	+3.7%
	セグメント利益	2,044	2,100	+55	+2.7%
その他	売上高	586	500	△86	△14.8%
	セグメント利益	64	50	△14	△21.9%
消去等	売上高	—	—	—	—
	セグメント利益	△1,871	△1,900	△28	—
合計	売上高	50,169	53,500	+3,330	+6.6%
	営業利益	2,039	2,500	+460	+22.6%

5

直近の
トピックス

トピックス① (化粧品事業)

デミ コスメティクス新商品 新メンズブランド「CARAVAN」、「XFLEEK」発売

CARAVAN (キャラバン) 2024年1月16日発売

- ・バーバースタイルに特化したメンズブランド
- ・武骨で男性的な色気を演出する、スタイリング中心に9アイテムの商品ラインナップ
- ・バーバー界のカリスマでもある「WOLFMAN BARBER SHOP」曾原 猛氏がブランドコンセプトを監修



XFLEEK (エクスフリース) 2024年3月5日発売

- ・Z世代男性をターゲットとし、パーマスタイルを楽しむためのブランド
- ・ヘアデザインアイテム、フェイスクアアイテムをラインナップ、全22アイテム



トピックス② (化粧品事業)

美容学校の学生とイーラル取り扱いサロンを繋ぐ 独自の求人プラットフォーム「キュアリストゲート」を開設 (4月公表)

対象の方々

- ・ イーラル独自メソッド「ヘッドキュア」を学び「キュアリスト」の資格を持つ (予定含む) 美容学校の学生
- ・ 即戦力の「キュアリスト」採用希望イーラル取り扱いサロン様

「キュアリストゲート」開設の背景

- ・ 美容業界の深刻な人材不足 (有効求人倍率/理美容業界3.4倍と高い)

イーラルの目指すサステナブル「美容と美容室の未来を支援し続ける」

- ・ 美容学生向け奨学金制度に加えてサロン様と美容学生の最短マッチングで即戦力の採用と就職率向上を支援



トピックス③ (化学品事業)

ニトリとの共同開発「Nシールド ファブリック」の展開 (2月公表)

汚れ・ひっかきに強い「Nシールド ファブリック」シリーズ

- ・ ニトリ×帝人×NICCA の3社コラボレーション
ニトリとは2023年2月に共同開発の「抗菌防臭・抗ウイルス加工学習机」に次ぐコラボ第3弾
- ・ 毛玉が出にくい抗ピリング加工、糸の飛び出しを防ぐ抗スナッグ加工、汚れにくく落としやすい防汚加工により、ペットやお子様のいる家庭でも快適に使用いただける
- ・ さらなる用途・素材への展開を目指していく

初回採用商品



カウチソファ
「CA2 NシールドDR」



ソファ
「CS01Nシリーズ布」



リビングダイニングセット
「リラックスシリーズ」



ポケットコイル座イス
「ロダシリーズ」



ゆったりソファ
「MS01シリーズ」

⇒ 初回採用商品の売れ行き好調、他商品へ採用拡大

トピックス④ (コーポレート)

(3月公表)

CDP「気候変動レポート2023」にて上位から3番目の『B』スコアを獲得

- ・ CDP (Carbon Disclosure Project) とは
企業や自治体の気候変動や温室効果ガス排出量削減に向けた取り組みを評価し
その結果を情報開示するNGO



「ふくい健康づくり実践事業所」認定と「知事賞」受賞

- ・ 社員食堂のオリジナルメニュー提供、健康アプリ「サントリープラス」導入、
女性の健康課題に関する研修、健康診断の受診率100%達成などが評価



「健康経営優良法人2024」認定

- ・ 生活習慣病予防健診の会社補助、ストレスチェック結果に基づく職場改善、
長時間労働者の心身健康チェックなどが評価



トピックス⑤ (コーポレート)

報酬制度改定による賃金および初任給の引き上げ (2月公表)

- ・ 2024年4月1日より当社社員約600名に対して実施
- ・ 将来を担う人材確保の重要なステップ

新卒初任給：**約10%アップ** (大卒2万3千円アップ)

1人当たり平均給与：**7.6%アップ**

正社員の役割等級構成と報酬テーブルを見直し、
再雇用社員の選択コースを拡充し、賞与支給方針を見直す

(いずれも2023年比)



Appendix

業績サマリー

1 全社：増収・大幅増益

売上高：12,228百万円（+6.1%）、営業利益：588百万円（+227.9%）
 経常利益：766百万円（+172.6%）、四半期純利益：318百万円（+1,059.8%）

為替（期中平均）
 米ドル：147.87円（前年同期比 11.0%円安）
 中国元：6.3%円安
 ウォン：6.8%円安

国産ナフサ
 1Q予想：72,500円（前年同期比 +9.0%）
 2Q予想：77,700円（同 +15.1%）

2 化学品事業：増収・増益

売上高：9,043百万円（+8.8%）、セグメント利益：821百万円（+246.6%）

（要因）

- 【売上高】（+）欧米アパレル在庫調整長期化による需要低迷から回復傾向
- （+）EHD関連製品販売堅調
- 【利益】（+）粗利益率向上、販管費・製造固定費抑制

3 化粧品事業：増収・減益

売上高：3,130百万円（+1.8%）、セグメント利益：239百万円（△38.1%）

（要因）

- 【売上高】（+）日華化学デミコスメティクス 新商品拡販で堅調
- （+）山田製薬、デミコリア好調
- 【利益】（-）在庫変動の影響を大きく受けた、販売関連費用増

セグメント別業績サマリー

化学品事業：増収・増益（売上高、利益ともに四半期ベースで過去最高水準）

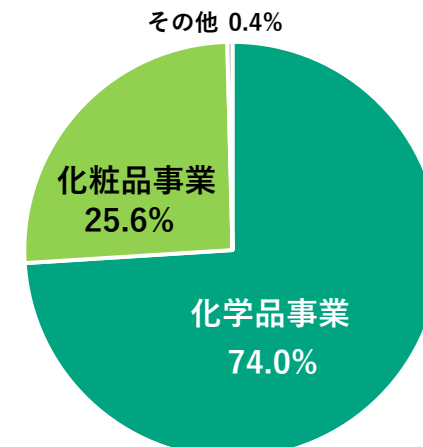
化粧品事業：増収・減益（売上高堅調も在庫変動の影響等で減益）

単位：百万円		2023年12月期1Q		2024年12月期1Q		前期比増減額	前期比増減率
売上高	化学品事業	8,310	72.1%	9,043	74.0%	+733	+8.8%
	化粧品事業	3,076	26.7%	3,130	25.6%	+54	+1.8%
	その他	133	1.2%	53	0.4%	△80	△59.8%
	合計	11,520	100%	12,228	100%	+707	+6.1%

セグメント利益	化学品事業	237	37.0%	821	77.5%	+584	+246.6%
	化粧品事業	386	60.4%	239	22.5%	△147	△38.1%
	その他	16	2.6%	▲4	—	△21	—
			100%		100%		
	共通	△460		▲467		△7	—
	合計	179		588		+408	+227.9%

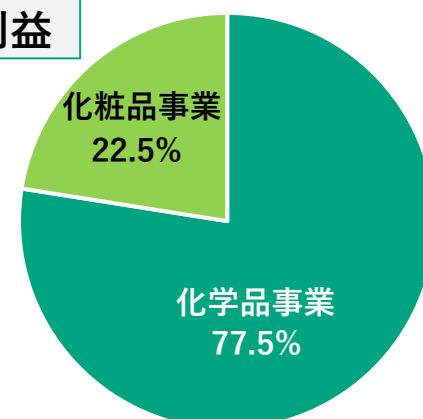
売上高

化学品事業が7割強



セグメント利益

化学品事業が8割弱



輝け、カガクで。

Activate Your Life

お問い合わせ先

 日華化学株式会社 IR担当

TEL:(0776)25-8584(直通)

Email : matsushima@niccachemical.com

この資料には、2024年4月26日現在の将来に対する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。
経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。